

来週の「売り物」記事はこれ



2013年11月8日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

パレスチナの「終わらない悲劇」 朝刊 10日（日）



「中東の火薬庫」と呼ばれるパレスチナ。ユダヤ教、キリスト教、そしてイスラム教という、「平和と安寧」を説く宗教の揺籃の地というのに、20世紀以降、それとは裏腹に「紛争と悲しみ」の大地に化しています。1993年のオスロ合意で、世界は一瞬だけ夢を見ました。激しく対立していたイスラエルとPLO（パレスチナ解放機構）は相互に承認し、イスラエルは第3次中東戦争（1967年）で占領したパレスチナ地区の



暫定自治を認め、和平交渉推進で一致したはずでした。それから20年——。暴力を排除し、紛争の民主的解決を誓い合ったはずなのに、憎悪の連鎖は今なお続いています。それを象徴するのが、子どもたちによるイスラエル軍への投石。しかし、その代償はイスラエル側による激しい弾圧です。「出口が見えない」の悲劇の連鎖を追いました。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

小泉元首相「脱原発」記者会見の波紋

夕刊 2面特集ワイド 13日（水）



毎日新聞の山田孝男・専門編集員がコラム「風知草」で紹介した小泉純一郎元首相＝写真＝の脱原発論。野党党首らが反応し、無視を決め込んでいた自民党もついに精査することになり、騒動は小泉劇場第二幕の様相を呈する。その小泉元首相が12日、日本記者クラブで記者会見をする。脱原発新党の可能性はあるのか、自民党内の脱原発派は声をあげるのか——改めて小泉発言の波紋を追う。

「月刊ソチ五輪」

12日（火）

ソチ冬季五輪開幕まで、いよいよ3カ月を切りました。毎日新聞は五輪開催まで月に1回、「月刊ソチ」を掲載します。第1回は、ソチ五輪開発に伴う環境問題に注目します。閑静な山間部の住宅地に作られたゴミの埋め立て処分場、五輪会場を結ぶ鉄道新線で分断された村……。地元環境保護団体の批判や環境省官僚の反論も紹介し「五輪と環境」を考えます。また、コラム「ソチ市民のお・も・て・な・し」、ウェア開発を巡る「サポート」も掲載します。



連載 「食卓の裏側で～遺伝子組み換えのいま」

くらしナビ面 12 日（月）



食用油や清涼飲料水、スナック菓子……。私たちの食卓には、遺伝子組み換え作物を原料に使った可能性のある食品が浸透しています。しかし、いまだに組み替え作物に不安を感じている人も少なくありません。組み換え食品の現状を報告します。

治したい！シニアの尿もれ くらしナビ面 16 日（土）

くしゃみや大笑いをしたとき、重い物をもった瞬間など、ふとした弾みで思わず起きる尿もれ。気にして外出を控えるなど、誰にも打ち明けられず、人知れず悩んでいるシニアは多いようです。最近では尿もれ対応の製品や、症状を改善する体操などもあるようです。尿もれのお悩みに応えます。



缶詰の料理活用術

くらしナビ面 18 日（月）



保存食の王様・缶詰。東日本大震災で一躍、見直されましたが、ひと手間かければ日常の料理にも使えるなど実は幅広い使い道があります。「缶詰博士」の黒川勇人さんに、おいしく作れる活用レシピを教えてくださいました。